

## 兵庫関係の国會議員

東日本大震災は発生から2週間が過ぎた。被災地への救援や復旧支援、原発事故、電力不足などへの対応に政府が追われる中、阪神・淡路大震災を知る兵庫県関係の国會議員22人は、この未曾有の災害とどう向き合っているのか。被災地、永田町、そして地元での議員たちの動きを追った。

(山崎史記子)

### 東日本大震災

16年前、被災地神戸で手手続きなどで行政事務がボランティアに取り組ん増大するとみられ、「被だ新党日本代表の田中康災自治体への人的支援が夫衆院議員(兵庫8区)急務」と末松氏。今後、は19~21日、福島第1原政府に対応を働きかけて発事故の影響が及ぶ福島いく。

県南相馬市を訪れた。「ま民主党震災ボランティアはやれることを、やれア室事務局の高橋昭一衆市長から支援に関する要人がやれる場所で」。院議員(兵庫4区)は、27日に党所属の国會議員やスタッフら約40人と富望を聞くとともに、避難や城県松島町に入り、道路所で焼き出しを行つたといふ。

自民党の末松信介参院議員(兵庫選舉区)は23日、津波で大きな被害を受けた宮城県名取市や石巻市などを見て回つた。は、被災地の子どもの津波に流されるなどして、時的なボーラーイ先ど住まいを失つた被災者がして、地元の但馬・丹波多く、仮設住宅への転居地域の支援者に協力を呼

## 被災者支援 視察や立法作業準備



民主党の山口壮衆院議員(右から2人目)ら兵庫関係の議員も出席した。東日本大震災に関する政府・与野党の実務者会合=19日午後、衆院第2議員会館

**経験と教訓 現地に**

写真のメインは、谷公一に張り付く秘書の磯篤志振り向き指示を出す谷公一。

与野党・各党一名(自民党代表谷公一)実務者会合  
中心メンバーとして活躍しております。